

小学校 知的障害特別支援学級 生活単元学習指導案

1 単元名 ボウリング大会をしよう

2 単元について

(1) 学級の実態

本学級は1年生3名、6年生1名の在籍である。1年生の児童は、学校にも慣れ、交流学級の友達に興味を持ち始め、名前を覚えたり、挨拶を進んでしたりするようになってきた。学習では、ひらがなを読めるようになり、なぞり書きもできるようになってきた。数についての概念は、まだ定着が難しい。6年生の児童は、漢字や数の概念についての理解がなかなか定着しない。社会生活能力は高く、交流学級では周囲の様子を見て、行動することができる。また、1年生の手助けも進んで行い、1年生にとっては頼りになる存在である。4名ともゲーム的活動が好きで積極的に行えるので、その中で楽しく学習できるようにしてきている。

(2) 指導観

4名とも数についての概念がまだ定着していない。1年生については、数と数字の意味が少しずつ理解できてきているので、倒れているピンを指で指しながら数え、実際の数と数字の理解をさらに深めていきたい。6年生については、立っているピンから倒れたピンの数を考えさせて、10の数の合成や分解の理解につなげていきたい。また、それぞれの児童の合計を出すことで、さらに計算機の使い方慣れるようにしていきたい。

3 児童の実態と目標

	実 態	目 標
A 1年	・ピンを指でさしながら数えることができる。時々数をとばしたり、倒れていないピンまで数えることがある。50までの数唱ができる。	・倒れたピンを正確に数えることができる。 ・数の大小がわかる。
B 1年	・ピンを数えることができる。わざと倒れていないピンを数えることがある。50までの数唱ができる。	・倒れたピンを指を使わずに数えることができる。 ・数の大小がわかる。
C 1年	・ピンを指で指しながら数えることができる。少ない本数だと見ただけで理解することができる。50までの数唱ができる。	・倒れたピンのみを正確に数えることができる。 ・数の大小がわかる。
D 6年	・数の概念の定着が難しい。10の数の合成・分解の定着を図っている。たし算やかけ算の計算問題は苦手意識があり、位取りの理解も定着していない。	・倒れたピンの数を立っているピンの数から判断することができる。 ・計算機を使って合計得点を出すことができる。

4 指導計画と評価(7時間扱い)

第1次 10の数を詳しく知ろう・・・3時間
 第2次 ボウリングの練習をしよう・・・3時間
 第3次 ボウリング大会をしよう・・・1時間(本時)

時	主な学習内容・活動	評 価			
		A	B	C	D
1	1 10だんごの歌 2 ボウリング大会 順番を決める 得点を記入する 3 結果を確かめる 得点表から1位を決める 4 振り返り	・倒れたピンを正確に数えることができる。 ・合計本数を見て誰が一番多く倒したかがわかる。	・倒れたピンを指を使わずに数えることができる。 ・合計本数を比べて、誰が一番多く倒したかがわかる。	・倒れたピンを数えることができる。 ・合計本数をみて、誰が一番多く倒したかがわかる。	・倒れたピンの数を立っているピンの数から判断することができる。 ・計算機を使って合計得点を正確に出すことができる。

5 本時の指導

(1) 目標

ア 全体目標

○ ボウリング大会を通して、楽しみながら数列や数の大小が理解できる。

イ 個別目標

A ・倒れたピンの数を正確に数えることができる。

・数の大小がわかる。

B ・倒れたピンの数を指を使わずに数えることができる。

・数の大小がわかる。

- C ・倒れたピンの数を指を使わずに数えることができる。
- ・数の大小がわかる。
- D ・倒れたピンの数を立っているピンの数から判断することができる。
- ・計算機を使って合計得点を出すことができる。

(2) 準備・資料

ボウリングのピン、ボール、スコア表、ペン、イレーサー、CD、ラジカセ、10だんご表、ブロック、数字表

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価(◎評価)
1 はじめのあいさつをする。 (1) 日直が号令をかける。 (2) 本時の予定を知る。	○日直があいさつを姿勢良く、大きな声で言うように励ます。 ○返事をはっきりと言うように声かけをする。 ○本時の予定を掲示し、内容が分かりやすいようにゆっくり伝える。
2 準備運動をする。 ○ 曲に合わせて体を動かす。 ○ 歌を歌う。	○曲に合わせて体を自由に動かせるよう個別に声をかける。 A には上半身を中心に動かすように声をかける。屈伸運動を行うように声をかける。 B には屈伸運動を行うように声をかける。 C には腕の動きに合わせて足も細かく動かすよう声をかける。 D には腕や足を大きく動かすよう声をかける。
3 「10だんご」の歌を歌う。	○歌を歌うときに、リズムに合わせて手を動かせるようにゆっくり歌うようにする。 ○10だんごの表を見ながら歌を歌えるようにする。
4 本時の学習課題を知る。 ボウリング大会をしよう	○準備をする物は何かを最初に伝える。 ○じゃんけんで順番を決める。 ○一人1投で5回投げることを確認する。 ○ボールを強く投げるように個別に声をかける。 A には両手を使って力一杯投げるように声をかける。 B には両手をボールに添え、力をこめて投げるように声をかける。 C にはピンの方に顔を向けて投げるように声をかける。 D には腕を投げる方向に向けて投げるように声をかける。
5 ボウリング大会をする。 (1)準備をする。 (2)順番を決める。 (3)進め方を確認する。 (4)ゲームをする。 ①名前を言ってから投げる。 ②倒れたピンを数える。 ③得点表に本数を記入する。 ④ピンを並べる。 ※①～④は繰り返し	○倒れたピンを正確に数えるように支援する。 A は指で1本1本指しながら数えるようにする。 B・C は指を使わず目で確認しながら数えるようにする。 D は10の合成を利用して数えるようにする。
(5)得点を計算する。	◎数を正確に数えることができたか。(観察) ○スコア表に数を書くように指示する。数字表をはり、数字がわかるようにする。 ○得点の計算はD が計算機を使って行うようにする。 ○誰が一番多く倒したかを問いかける。分からない時には、具体物を使って比べられるようにする。
(6)表彰式	◎数列と数の大小がわかったか。D は、計算機を使って、合計得点を正確に出すことができたか。(観察・発表) ○優勝者には折り紙メダルを授与し、本時のがんばりをみんなで認め合う言葉、「おめでとう」「ありがとう」が自然に出る場面を作る。
(7)後片付けをする。	○後片付けをする習慣を身に付けるため、一人一役になるように片付ける物を伝える。
6 振り返りをする。	○本時の学習でがんばったこと、気をつけたことなど、感想を発表できるようにする。 ◎楽しくボーリングゲームに参加することができたか。(観察・発表)
7 終わりのあいさつをする。	○終わりの挨拶をはっきりと最後まで言えるように声をかける。